



学校だより

福島県立郡山支援学校
令和6年9月27日
令和6年度 第2号

学校経営・運営ビジョンに基づく、本校の取り組み状況をお知らせします。

<学校教育目標>

『一人一人のよさや可能性を広げ、「生活に生きる力」を育み、自立し社会参加できる児童生徒の育成を目指す。』

<令和6年度教育課程重点目標>

『情報活用能力を育成するため、個に応じた指導の充実を図りながら、各教科等の特質を生かした授業づくりを実践する。』

目指す子供の姿

主体的に生きる児童生徒

心豊かに生きる児童生徒

健やかに生きる児童生徒

主体的に生きる児童生徒

・キャリア教育の充実に向けた授業づくり

(キャリア教育とは、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要となる能力や態度を育てることを指します)

小学部

小学部段階でのキャリア教育では、日常的な様々な「役割」を果たしていく経験を大切にしています。特別活動等で設定している係活動や清掃では、友達と仕事を分担し、意欲的に活動に取り組んでいます。



中学部

主体的な進路選択に向け、3年間を通して様々な進路先見学に取り組んでいます。7月には3年生が高等部の授業を見学しました。高等部ならではの教科や就労を意識した学習の様子に、大いに刺激を受けました。



高等部

学習面、生活面の目標設定と反省、実習や行事の振り返り等、学校生活全体での取組の成果と課題を整理し、卒業後の自立した生活に向けた意識を育成しています。



・自立活動の視点を大切に授業づくり

小学部

さつまいもの葉や根、茎に触れ、成長を確かめながら育てています。葉の形や色、感触に気づくと、手指を動かし、目を大きく開いて気持ちを伝えます。



中学部

美術の授業でスプレーガンを使用して、「虹」の作品を描きました。ガンで噴射して色が広がる様子を見ながら意欲的に描くことができました。



高等部

ソルトアートでは、使いたい色を選んでカードで伝えたり、袋を握って色水を絞り出したりして、色の広がりを確認しながら作品を仕上げました。



・ICTを活用した学習環境の整備

【タブレット端末、プラレール、MaBee、iPadタッチャー、スイッチ】

小学部1学年の算数科「どこからでるかな」の学習で活用しました。児童がスイッチを押してプラレールの電車を操作することで、注視することにつながり、どのレールに行くのか、どのトンネルから出てくるかを見続けることができました。



【タブレット端末、Canva】

行事の振り返りなどで活用しました。中学部2学年の宿泊体験学習の振り返り学習で、2年4組では生徒の思い出に残ったシーンの写真を取り込んでアルバムを作成しました。アルバムのテンプレートを利用して写真をフレームに入れる操作をスムーズに行うことができました。



心豊かに生きる児童生徒

・挨拶、モラルを中心としたマナーアップ指導

「あいさつ週間」を設定し、児童生徒の代表が昇降口であいさつ運動をしたり、昼の放送であいさつの大切さをアナウンスしたりしました。自分からあいさつし、望ましい人間関係を構築できるよう取り組んでいます。

情報モラル教室では、県南少年サポートセンターから講師を招き、ネット犯罪の現状や犯罪の被害者・加害者にならないために大切なことを学びました。私たちの生活に欠かせなくなったスマートフォンやタブレット端末。正しい知識をもって安全・健康に活用する力を身に付けてほしいと思います。



健やかに生きる児童生徒

・寄宿舎の生活

寄宿舎では生徒の余暇の充実を目的として、音楽やものづくり等を楽しむ『余暇の日』を設けています。スポーツを行った日には『転がし卓球』や『バドミントン』『格闘技エクササイズ』等、初めてのスポーツにも挑戦しました。

生徒たちからは「みんなで体を動かすことができ楽しかった」との声が聞かれ、活動を通してコミュニケーションの輪もさらに広げることができました。



・教員同士が学び合う校内研修の充実

教員一人一人の専門性を高めるため、放課後の時間や長期休業日を利用して校内研修を行っています。夏季休業中には、専門性のある校内の教員を講師として「授業力向上研修講座」を実施しました。今年度は「身近な材料を使った制作活動」「肢体不自由児の体育の授業づくり」「ICTの授業での活用」「手話や指文字を使った児童生徒とのコミュニケーション」の4つの講座が行われました。各講座とも新しい知識や2学期からの授業に生かせる学びなど、多くのことを得ることができた充実した研修となりました。



お知らせ

本校の取り組みを本校ホームページ及び福島県教育委員会公式noteサイト「福島県学びの情報プラットフォーム」に随時アップしています。ぜひご覧ください!!